



2021年2月10日

各 位

会社名 東京製綱株式会社  
代表者名 取締役社長 浅野正也  
(コード番号 5981 東証第1部)  
問合せ先 専務取締役 佐藤和規  
(TEL. 03-6366-7777)

### 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月13日に公表いたしました「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び剰余金の配当予想を下記のとおり修正することと致しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年11月13日発表)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	58,000	200	100	200	12.41
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	百万円 63,090	百万円 319	百万円 446	百万円 △2,434	円 銭 △151.11

#### 2. 通期業績予想修正の理由

2021年3月期の連結業績予想値につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大懸念など先行き不透明な状況により、その影響額を合理的に見積もることが困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

第3四半期に入り、新型コロナウイルス感染症で大きく影響を受けていたスチールコード事業はじめ自動車関連製品の需要が急速に回復してきていること、また、遅延していた防災関連事業等の国内工事が進捗していることなどから、第3四半期の3カ月間の利益は連結全体で黒字に転換し、新型コロナウイルス感染症の影響が生じる以前の前年同期比においても全セグメントで増益または赤字幅縮小に転じました。第4四半期につきましては、コロナウイルス禍で引き続き国内鋼索での需要低迷など一部影響は継続する見込みですが、昨年11月に受注した米国大型橋梁向け土木用炭素繊維ケーブルの生産や国内工事の進捗など概ね堅調に推移することが見込まれることから、通期においては黒字を確保する見込みであります。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年11月13日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

### 4. 配当予想修正の理由

当社は、財務基盤の強化や事業展開に必要な内部留保を勘案のうえ、安定的な配当継続を基本方針としつつ、事業創造に邁進し、収益力強化を通じた株主還元の拡大を目指しております。

当期業績に関しましては足元で業績が急速に回復してきているものの、配当原資となる親会社株主に帰属する当期純利益においては、上期業績に及ぼした新型コロナウイルス感染症による影響が甚大であることから、誠に遺憾ではございますが、未定としておりました当期の期末配当予想を無配とさせていただきます。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、既存事業で取り組んでおります各構造改革の効果や、成長戦略事業の進捗もあることから、早期の業績回復と復配に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上